



Newspaper in Education

【福井県で大城三太】第17回NIE全国大会(日本新聞協会主催)が30日、「考える人」になる「いかそう新聞 伸ばそう生きる力」をテーマに福井市のフェニックス・プラザで開幕した。県内の教員ら13人を含む、教育・新聞関係者ら約1700人が参加した。

(8月3日付教育面に詳報)
反貧困ネットワーク事務局長の湯浅誠氏による記念講演のほか、中学校教諭らが参加したパネル討論が開

NIEで考える力を 福井で全国大会 1700人参加し開幕



新聞活用の方法や可能性などについて話し合われたNIE全国大会=30日、福井市のフェニックス・プラザ

かれ、NIEのカリキュラム化や教材化、教育界と新聞社の連携の必要性などについて意見が交わされた。

湯浅氏は「現代人は時間に追われて忙しく、物事を深く考える時間、互いに意見を交わす場がつかれなくなっている」と指摘。格差社会、貧困問題も深く関わっているとし「考える時間を確保できない社会は、自分たちで物事を決める民主主義の空洞化につながる」と警鐘を鳴らした。

「学校は、子どもたちの時間や議論の場が用意されている」と強調した上で「考えを深める工夫や仕掛けをしてほしい」と現場の教師に期待を込めた。

31日は、公開授業や実践発表が行われる。